

# ～ABC検診について～

## ●ABC検診とは

ヘリコバクター・ピロリ菌（以下ピロリ菌）は幼少期に感染し、胃に住み着き胃炎をおこす菌です。胃がん・胃潰瘍・十二指腸潰瘍・MALTリンパ腫など様々な病気に深く関わっていることが分かっています。「ABC検診」は血液検査で以下2項目の結果から「胃がん発症の危険度」をA～Dに分類する検査です。

- ①ヘリコバクター・ピロリ菌抗体価を測定し、「ピロリ菌感染の有無」を調べます。
- ②ペプシノゲンの値を測定し「胃の萎縮程度」を調べます。

ABC分類		ヘリコバクター・ピロリ菌抗体価検査	
		(-)	(+)
ペプシノゲン検査	(-)	A	B
	(+)	D	C

### A群

ピロリ菌に感染歴が無く、胃炎も無い健全な状態です。

胃がん発症の  
危険度は低い



### B群

現在ピロリ菌に感染しており、胃粘膜に「軽度の胃炎」がみられる状態です。

胃がん発症の  
危険度はやや高い



A群は正常。B、C、D群の順に胃がんの危険度が高くなります。

### D群

胃がん発症の  
危険度は最も高い



現在ピロリ菌はいませんが感染歴があり、胃粘膜に「高度の萎縮」がみられる状態です。

### C群

胃がん発症の  
危険度はかなり高い



現在ピロリ菌に感染しており、胃粘膜に「中等度の萎縮」がみられる状態です。

### E群



除菌治療を受けた方は除菌判定の結果に関わらずE群(除菌群)となりますが、検査数値の確認をすることができます。ご注意の上、お申し込みの前にご申告下さい。

#### (注意事項)

以下の場合には正しい結果が得られない可能性がありますのでご相談下さい。

- ・ピロリ菌除菌治療を受けた方
- ・切除胃の方
- ・胃の病気を治療中の方
- ・胃酸を抑える薬を服用中の方
- ・腎不全の方

\*裏面もお読み下さい

## ●ABC検診は毎年受けるもの？

胃がん発症の危険度を検査するものなので、基本的に生涯のうち一度で構いません。

- A群の方で、胃カメラや胃透視による画像検査の結果と矛盾する場合は偽陰性の可能性も考えられるため、消化器内科を受診し、医師に相談の上違う方法でピロリ菌の再検査を受けて下さい。
- B/C群の方は早めの除菌治療をおすすめします。
- D群の方は胃がん発症の高危険群であるため、毎年の胃カメラ検査をおすすめします。

## ●成人後の感染や除菌後再感染の心配は？

大人になってからピロリ菌に感染することは非常に稀であるとされており、除菌後「再感染」の可能性はほとんどないものと思われれます。ただし、きちんと除菌されていない場合は「再陽性化」の可能性ががあります。

## ●除菌治療後の判定でABC検診を受けるのは？

前述のとおり、ABC検診の目的はあくまで「胃がん発症危険度の把握」です。また、ABC検診の判定に用いるヘリコバクター・ピロリ菌血中抗体価は除菌後安定するまで時間を要するため、除菌後の判定にはおすすめできません。除菌後の判定は除菌後2ヶ月程度経過後に消化器内科を受診し医師に相談の上、尿素呼気試験など他のピロリ菌検査での判定をおすすめします。

## ●ABC検診の料金は？

人間ドックや各種健康診断にオプションとして追加した場合4,390円（税込）で、ABC検診のみの場合は5,940円（税込）となります。お申し込みの際は、健診日の一週間前までにご連絡をお願い致します。

～ ご予約の際はお電話下さい ～

### 大崎市民病院 健康管理センター



TEL 0229-23-3471  
FAX 0229-23-3472  
電話受付時間（平日8：30～16：00）

